



## 1. リスクマネジャー交流会の報告

テーマ:「インシデントレポートの分析と活用について」

コメディカルのリスクマネージメント実践報告がありました。

日時:平成29年6月10日 姫路商工会議所 13時30分~16時30分

参加者:53名

### <姫路循環器病センター:臨床工学技士>

医療機器中央管理ソフトを活用し、ゼロレベル・職種別など詳細な情報を把握し分析している内容について事例を通して報告した。



### <公立六栗総合病院:臨床工学技士>

MEセンターと医療安全管理対策室とが連携し、医療機器に関するインシデントレポートの「分析と再発防止対策立案」を行っている。その活動を、事例を通して報告した。



### <姫路聖マリア病院:栄養士>

栄養課の事故ニアミス報告は、多くが異物混入・配膳ミス・調理ミスなどである。特殊性から部署独自の定量的な分析を実施し、対策・評価を実施している。その中で、異物混入対策やアレルギー対策など積極的な取り組みについて発表した。



### [姫路赤十字病院:医療安全管理者]

専従の医療安全管理者業務の日常の業務内容と改善活動について報告。医療安全管理者の最も大切な役割は、『事例が複数の部署や部門のスタッフが関与している場合の要因分析や改善対策立案時の調整役である』と発表した。



GWでは、実践報告者からのコメントや他施設の安全管理の情報交換を行い、レベル「ゼロ」の報告を増やすために必要な「簡単に記入できる用紙の検討が必要」、「インシデントのデータ管理の必要性」、「地域でリスク管理を共有するための工夫は無いかな」など、活発な意見交換を行いました。アンケートには「自施設へ持ち帰り検討する」という意見が多く、有意義な交流会となりました。

## 2. X病院からの安全情報（インシデント報告より）

### ①三方活栓の種類・形状・機能に要注意！

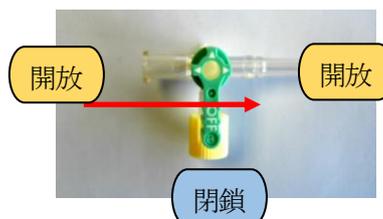
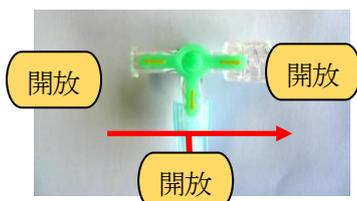
1バータイプと3バータイプでは、

コック/バーの位置により、流路の閉鎖と開放が逆になります。

コック/バーと流路を必ず確認しましょう。

コック/バーのある位置が開放

コック/バーのある位置が閉鎖



（インシデント事例）

当院では「3バータイプ」の三方活栓を使用している。患者急変時に研修医が3バータイプのコックの操作に戸惑い、薬剤を速やかに注入することが出来なかったために不整脈が頻発した。

【要因】・研修医は、前勤務施設で1バータイプの三方活栓に慣れていた。

- ・当院では、新人看護師には三方活栓の取り扱いの研修を行っているが、研修医には指導をしていなかった。

【対策】・研修医のオリエンテーション時に、針・チューブ・三方活栓等の院内採用の材料を紹介し、取り扱いの実習を行う

### ②頭文字3つが類似した薬剤商品名は要注意！

平成25年より「後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進」が進められ、薬剤商品名が「一般薬品名」や「先発薬品名」に類似したものが多くなっています。

頭文字3つが類似していると、頭文字2つの類似薬品より3倍取り違えが起りやすい（機能評価機構分析報告より）というデータが出ており、要注意です！

当院では、電子カルテで処方オーダー時に3文字を入力すると自動変換し候補薬が表示されますが、確認ミスが起り違う薬剤が処方される、というインシデントが発生しています。そこで、「ノルバ」と3文字入力すると、「（女性ホルモン）ノルバデックス、（Ca拮抗剤）ノルバスク」のように 薬品名の前に「効能」を表示 することにしました。

#### 類似した薬品名

アムロジピン  
 アムロジン  
 ロキソニン  
 ロキソプロフェンナトリウム  
 ノルバデックス  
 ノルバスク  
 プレドニゾロン  
 プレドニン  
 ノイトロピン  
 ノイトロピタン  
 エバステチン  
 エバステル etc・・・

## 3. H29年度 医療安全研修予定

2017年 10月 28日(土) 医療安全研修

「医事紛争対応について～医師会の活動を通して～」

12月 2日(土) 第3回リスクマネージャー交流会「認知症と医療安全」

発行元：兵庫県看護協会西播支部 医療安全委員会

事務局：県立姫路循環器病センター 医療安全管理室 船岡昌代

電話：079-293-3131 FAX：079-295-8199

e-mail：Masayo\_Funama@pref.hyogo.jg.jp